

# 船橋非常通信連絡会 ニュース

お、ア、ミーティング 432.76MHzにて **第34号** 常用周波数 (MHz) 432.76  
 毎土曜 22:00~, 毎日曜 10:00~ [DEC / 2005] 145.76, 1295.78, 1292.72  
 混信ならDownQSY, 20KHzづつ 432.56MHzまで JJ1YNA H.P <http://www.jarl.com/jj1yna/>

FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE-Net / FARE

協力局委嘱更新と役員改選について	船橋市防災フェア参加要請
第2回ネットワーク構築テスト結果	第2回移動運用のお知らせ
第1回移動運用報告	ニュースあれこれ
第2回技術講習会報告	編集後記 JS1IWA JK1PIK
第3回ネットワーク構築テストのお知らせ	八ム運用講座 #3 JA1BWA

## 委嘱状更新手続きと役員改選について

JA1QC 山本 宗一

### 委嘱更新を迎えるにあたってのお願い

ご承知の通り船橋市アマチュア無線非常通信連絡会は、船橋市アマチュア無線クラブを母体として、その有志からなるボランティア団体で、船橋市長から非常通信協力局長として委嘱された会員と、船橋市役所アマチュア無線クラブ員で組織されています。

市長からの委嘱期間は3年で今年度末は委嘱更新の時期にあたります。またこれと同期して無線クラブの役員の改選も行われ、連絡会の役員として兼務します。

会員の皆様には何かとお忙しい時期ではありますが、更新と役員改選の手続きを連絡会ニュース34号に同封された書類に記入して行き、返送書類は12月31日までに必ず投函下さいますようお願いいたします。両会の活性化には新規会員を迎えると同時に役員の改選が必要と感じております。改めて会員の募集もやって頂きますが皆さんにも、役員として会を牽引する実力を発揮して頂きたく、期待しております。

### 委嘱更新手続きについて

連絡会ニュース34号と同封されています書類の“船橋市アマチュア無線非常通信協力局長の委嘱について(更新願い)”の点線以下の部分に必要事項をお書き込み下さい。今期中に入会された局も委嘱は同時期に一斉更新となりますので、委嘱更新手続きが必要です。記入した書類は事務局向け返信用封筒で投函

下さい。市長からの委嘱状は新年度総会で会員個々に手渡されます。委嘱更新の手続きを忘れずと委嘱されず、協力局長としての資格を失い、連絡会員でなくなる事となります。なお更新を希望されない局もその旨を記入の上返送して下さい。連絡会員でなくなってもクラブに籍は残ります。

### 役員改選手続きについて

連絡会の役員は無線クラブの役員が兼務することとなっており、今期で任期満了となります。本来はクラブ員による改選が建て前ですが、連絡会会員以外のクラブ員には書類での連絡手段がありません。従って連絡会会員以外のクラブ員には、オンエアーミーテ

ングやクラブのホームページでお伝えし、参加して頂きますが、皆様からもクラブ員への伝達にはご協力をお願いいたします。ニュースと同封された役員改選投票書類に必要事項を記入し、更新願い書類と同封して事務局に向け投函下さい。

## 役員の選出方法について

規約の上で連絡会の役員は船橋市アマチュア無線クラブの役員が兼務することとなっていますので、実際には以下の方法で選出します。

アマチュア無線クラブの会則は平成11年4月に改正され、“役員の選出は総会で選出する”となっています。

当初も現在も改選時の選出方法として、クラブ員の推薦投票・立候補などで候補となった会員を現役員会で選出、新役員会の互選で三役も選出し、総会で承認を

受ける方法で今日を迎えております。

今回の役員選出も従来通りの方法で選出いたします。

役員改選投票用紙に立候補・推薦を記入し、委嘱更新願い書類と同封で12月31日までに事務局宛に投函して頂きます。

新年の役員会で集計の結果から次期役員を選出、次期役員の内選で三役を決め総会での承認を求めます。

役員の内選は3年ですが都合で途中退任の場合は後任者を推挙し、残る任期を務めていただきます。

## 第2回ネットワーク構築テスト結果

9月18日に今年度第2回ネットワーク構築テストが行われました。

参加局は14局、ログ提出は10局でした。最近やや低調気味ですが、次回にはぜひ多数の参加を期待します。

参加局

7K2CWU, 7L1TTH, 7L1FYS, 7L2NWB, JA1QC, JA1VRZ, JA1XQC, JG1EDX, JG1DVY, JH1MQC, JH1TVY, JK1PIK, JO1GLR, JA1OQX

## 第2回技術講習会報告

11月20日飯山満公民館にて第2回技術講習会が開催されました。

今回は約1秒間隔で点滅を繰り返すLEDコントローラーで、単3電池2本で30灯程度は制御可能なもので、交互に2色点灯するような簡単な付加回路も追加可能で、クリスマスイルミネーションなどには最適と云えます。

担当のJK1TUJさん、JL1GYBさんが部品の調達から基板の加工、回路図、実体配線図まで、周到に準備して下さった上に、配線の順序や半田付けのテクニックまで指導され、全員が目出度く完成することが出来ました。



回路の理論的な説明はJE1FTNさんがオシロスコープを使って、動作波形を表示させるなどして、目で見る形で判りやすく説明して下さり、ギタンパソコンの様子が皆さんに良く理解されたようでした。

参加者は9局でやや淋しかったですが、大変中身の濃いもので、楽しい講習会でした。

参加局: JA1QC, JE1FTN, JG1EDX, JK1PIK, JK1TUJ, JL1GYB, JS1IWA, 7L2NWB, 7L4JUO

## 第1回移動運用報告

10月9日の第1回移動運用は、関東地方に停滞した低気圧に因る悪天候のため当日の朝、担当のJA6AZE局の決断で中止が決定し、情報が流されました。残念でしたが次回の移動運用が好天であることを祈りましょう。  
当日、参加予定で東船橋駅前に集まった各局は「残念会」と称し、市場通りのスカイラークに集合、モーニ

ングコーヒーなどを飲みながら、次回技術講習会の下打合せや、自作のリグの紹介、その他の技術論議に花を咲かせ、鬱憤晴らしをして帰宅しました。

残念会参加メンバー：JA1QC, JH1AMH, JE1FTN, JG1DVY, JK1PIK, JK1TUJ, JL1GYB, JS1IWA

## 第3回ネットワーク構築テストのお知らせ

本年度第3回目のネットワーク構築テストを、下記要領で実施致しますので、より多くの皆様の参加とログの提出を期待します。

毎回のことですが、ログの提出が無い方があります。構築テストの参加はログの提出が終わって終了します。折角QSOしたなら中途半端はやめて、必ずログの提出をお願いします。

- 1) 参加資格：YNA会員局またはYUX会員局
- 2) 日時：平成17年12月18日(日)  
10:00~11:00 JST
- 3) 場所：自宅、近隣指定避難所、その他
- 4) 設備：固定機、ハンディ機、車載機
- 5) 周波数：432.76±40kHz, 1295.76MHz, (50,144については適宜設定のこと)
- 6) 得点：自宅固定機からは、1交信につき1点、  
屋外でハンディ機からは1交信に2点、  
屋外ハンディ機からの運用で発信地区および隣接地区以外の地区(例えば東部対西部、南部対北部)ならびに市外からの会員局との1交信に対して3点

7) 部門：50,144,430,1200MHz(バンドが異なれば同一局OK)

8) ログ提出先：担当 JA1OQX 阿部幸司宛て  
郵送、FAX、E-mail:[ja1oqx@jarl.com](mailto:ja1oqx@jarl.com)

9) ログ提出期限：平成18年01月31日 必着

10) 交信方法：

呼び出しは“CQフェアネット”を前置する  
自局のコールサインはフォネテックコードを使用する

応答は信号レポート(メリット)および自局の運用地区名+町名+指定避難所名を告げる

\* ネットワーク構築テストは、アマチュア局なら皆一度は経験がある、コンテスト形式を用いた、楽しみながら出来る交信訓練です。また自宅や担当避難所からの交信可能範囲を把握するなどの、有事に備えてのデータを得ることも目的のひとつです。

ネットワーク構築テストは、唯一賞品の出るイベントですので、是非参加してみませんか。

JA1OQX

## 船橋市防災フェア2006参加要請

船橋市防災フェア2006の内容が決まりましたのでお知らせします。

当連絡会は公式行事として参加する予定ですので、近隣在住のメンバーは是非参加を御願います。

日時：1月21日(土)12:00~16:00 JST

場所：屋外デモンストレーション = 新高根1丁目17 高根中グラウンド(高根東小共用)  
講演会 = 新高根1丁目13 新高根公民館

連絡会の行事予定：公開運用に依るデモンストレーション、連絡会PRビラの配布など  
参加される局はJN1QKR 増沢まで（HPトピックス欄でも可）お知らせ下さい。 JN1QKR

## 第2回移動運用（芋煮会）のお知らせ

2005年度第2回移動運用を次の通り実施します。  
毎年恒例の芋煮会です 御家族同伴でお出かけ下さい。  
今回は移動運用を兼ねたアイボール兼家族サービスDAYというスタンスで実施。

数少ない独身の方は恋人も可。但し親戚一同 恋人以外の友人の場合は別途会費をご寄付願います。

無線に重点を置きたい方は集合時間の前からセッティング・運用していただいて結構です。

日時：2月19日（日） 10:00 現地集合

無線誘導 432.76 MHz

行事：手賀沼湖畔での無線と芋煮会またはバーベキュー

場所：国道16号の大島田 から 船取線に入り手賀沼大橋方向へ北上、「道の駅沼南」手前を右折、すぐ左の梨園を左折、突き当たりを右折してしばらく行った辺りの沼畔の空

き地。（地図では箕輪新田）

無線誘導：432.76MHzにて行いますが、移動の車はお互いに声を掛け合って迷わない様に来て下さい。

参加費：1000円/1家族（何人でも）差し入れ大歓迎

運用：各自のスタイルで、出力は免許の範囲内どうぞ！場所は広いのでHFのフルサイズも可能です。

申し込み：JA6AZE 説田までメール、FAXまたはYNAのトピックスで参加者コールサイン、参加人数をお知らせください。  
是非大勢の方のご参加をお待ちします。

（食材の都合上必ず2月17日までにご連絡下さい。）

JA6AZE

## ニュースあれこれ

### \*閏秒

独立行政法人 情報通信研究機構（NICT）の発表では、2006年1月1日午前8時59分59秒と、9時00分00秒との間に「8時59分60秒」を挿入するそうです。これは天文時と原子時とのずれを

### \*クラブに寄付

先日JA1BWA高橋さんから、8月の防災訓練の後の反省会の時に、ジャンクを販売された売上金をクラブに、ご寄付を戴きました。YNAは会費を徴収していないので、運営資金の調達は結果的に寄付に依らざ

### \* 最近の地震情報

11月の各地の体感地震の数は26日現在52件、内震度3が6、2が18、1が28件で平均1日に約2回の割合で起きています。

0.9秒以下に保つための補正で、1972年に制度が出来てから今回は23回目にあたり、前回は1999年1月1日に+1秒で、今までは全て+（天文時が遅れる）補正でした。

るを得ず、大変有り難いことで紙上を借りて御礼申し上げます。クラブ免許の更新やJARL会費などの費用の一部に使わせて頂きます。

東日本の震度3の地震は11/12,17茨城県沖、11/13岩手県沖11/15三陸沖の4件です。地震列島とは良く云ったものです。

## \* YNAホームページにどうぞ

J J 1 YNAのホームページも開設以来かなりの年数になりますが、メンバー局でも殆ど見たことの無い方が多い様です。連絡会ニュースは3ヶ月に1回ですので、行事の予告にしてもかなり先の状態ですがHPのトピックス欄では直前情報が掲載され、参加のメンバーも登録され

ます。

また、BBSには皆様からの情報やご意見、ご質問や回答などが随時掲載されています。

連絡会ニュースも最新号が全文が掲載されています、ぜひ覗いてみてご利用下さい。

## 編集後記

今年は、ローコストな定電圧、定電流電源を作るのが目標であり、部品はできるだけジャンク品で賄うため、部材集めには時間を要しましたが、念願がなつてやっと完成しました。はじめは電源用のICを使って試作しましたが、思いどおりにならないので途中で放棄。ところが、7L3UQW局の実験用安定化電源の修理を請け負ったことで、重い腰が持ち上がりまし

た。修理するより制御部を作り替えるのが早道と思い、今度はオペアンプを使ってトライすると見事に成功。この勢いに乗って、当局の分の作り込みにも成功！ゼロから可変できる電源が完成して大変満足しています。今度は、2台目として指示部なしのコンパクトタイプに挑戦中ですが、やはり自作は楽しいものですね。 J S I IWA

姉齒建築設計事務所の耐震構造データ偽造事件が、大きなニュースになっています。

先日防災課に行ったついでに目と鼻の先にある、問題のマンションを見て来ましたが外観は一見瀟灑な建物で、勿論素人にはどこが悪いのかは判りませんが、入り口のガラスドアにいきさつを書いた新聞の切抜きや、色々なピラが貼られており前には引越しのトラックが並び、さすがに物々しい雰囲気でした。

知り合いの建築関係者に聞くと、このような手段でコストダウン出来る金額は総工費の数%に過ぎないそうで、業界の競争のせめぎあいの結果、もっとも大切な安全性がないがしろにされたのだ、との話でした。でもこれが氷山の1角で、若し業界の常識なのでしたら怖いですね！誰もこのほかの設計士の仕事を確認しようと言わないのが不気味です。各社とも大なり小なりなんて嫌ですよ！ J K 1 P I K

発行：船橋市アマチュア無線非常通信連絡会・船橋市アマチュア無線クラブ J J 1 YNA

「連絡会ニュース」編集部

**国内QSO(電信)の方法**

前回は、国内QSO(電話)の1st QSOの方法でした。2nd QSO以降もシグナルリポートと名前は必ず伝えるようにしましょう。ローカルラグチューではコールサインを省略することが多いのですが、時々IDである相手局と自分のコールサインを送出するようにします。電信の場合は、殆んど送信の都度、コールサインを送出します。

## 【初QSOの例】

- (1) CQ CQ CQ DE JA1BWA JA1BWA AR K
- (2) JA1BWA DE JA3AAQ JA3AAQ PSE K
- (3) JA3AAQ DE JA1BWA GM TNX FER UR CALL UR RST 599 599 HR FUNABASHI  
(CHIBA) JCC NR 1204 -...- MY NAME TOSHIO(TAKAHASHI) TOSHIO(TAKAHASHI) HW? AR JA3AAQ DE  
JA1BWA KN
- (4) JA1BWA DE JA3AAQ R GM TOSHIO SAN TNX FER NICE REPORT FROM  
FUNABASHI UR RST 599 599 ALSO HR TOYONAKA(OSAKA) JCC NR 2504 -...-  
MY NAME KIYOSHI(SATOU) KIYOSHI(SATOU) HW? AR JA1BWA DE JA3AAQ KN
- (5) JA3AAQ DE JA1BWA R KIYOSHI SAN TNX FER NICE REPORT FROM  
TOYONAKA -...- WX HR VY FINE ES 20C -...- PSE QSL CARD VIA JARL  
BUREAU -...- RIG HR ICOM IC-756PRO ES ANT GP 8MH HW? AR JA3AAQ  
DE JA1BWA KN
- (6) JA1BWA DE JA3AAQ OKAY UR INFO VY NICE JOB -...- WX HR RAIN ES  
23C -...- OKAY QSL CARD VIA JARL -...- MY RIG HR YAESU FT-1000 ES  
ANT DIPOLE 16MH HW? AR JA1BWA DE JA3AAQ KN
- (7) JA3AAQ DE JA1BWA R ALL OKAY UR RIG VY FB -...- NW QRU TNX QSO  
73 CUL GL ES GB KIYOSHI SAN AR JA3AAQ DE JA1BWA SK
- (8) JA1BWA DE JA3AAQ QSL TNX QSO 73 GL SAYONARA FROM OSAKA AR  
JA1BWA DE JA3AAQ TU SK

これはあくまで参考で、このとおりに送信しなくてはならないということではありません。適宜アレンジして、電信QSOを楽しんでください。もちろんローマ字によるQSOでも良いし、和文電信も奥の深い世界があります。欧文電信と和文電信の区切りは、... (ホレ)を前置して和文を使用します。和文から欧文に戻るときは、...で区別します。

電信QSOの場合、一部の動詞や前置詞などを省略することが多いのです。また、前述の例で、各電文の最後の「K」と「KN」の意味は、電文の終了で相手の送信を促すということでは同じ意味ですが、「KN」の場合はQSOの相手以外は応答してはなりません。つまり排他的に使用されるもので、割り込み(ブレイク)は失礼ということになります。割り込みを可とする場合は「K」を使います。「QSL」には2つの意味があります。先ずQSLカードが一般的ですが、「R」(了解)という意味にも使用することが多いのです。その例が(8)です。

なお、電信略号につきましては電波法運用規則に一部ありますが、これはプロの通信用でアマチュア用はもっとたくさんあります。私のお勧めはCQ出版の「DXマニュアル」(JA1ADN井原昇著)のP273〔CW略符号〕です。中でもユニークな略号は「B4(以前)」、「HI(笑い)」、「LID(ヘボオペ)」などでしょう。

## オンエアミーティングの方法

一般的にロールコールとオンエアミーティングは同義語として使われる場合がありますが、FARE-netの形態はオンエアミーティングです。ロールコールというのは、NC (Net Controller) が予め決められた順にメンバーのコールサインを呼んで、チェックインを確認するものです。(点呼)

オンエアミーティングもロールコールも多くのメンバーの参加を前提としますと、出きるだけスピーディに事を運ぶことが望まれます。つまり、NCは必要最低限のアナウンスに止め、マイクを長く持たないのが良いのです。その極端なケースは、航空管制、消防無線、警察無線、タクシー無線の交信にみられます。我々のオンエアミーティングはあれほど短くすることはないかも知れませんが、その心は「出きるだけスピーディに」です。

### 【オンエアミーティングの例】

NC : こちらはNC (ネットコントローラー) の\*\*#\*\*\*です。ただ今よりFAREネットのオンエアミーティングを開始します。お聞きのメンバーはチェックイン願います。どうぞ。

(メンバーのパイルアップ - 通常FMの場合はシグナルの強い順にピックアップされる)

NC : JA1QC了解、更にどうぞ。

(メンバーのパイルアップ)

NC : JK1PIK了解、更にどうぞ。

(メンバーのパイルアップ)

NC : JA6AZE/1了解、更にどうぞ。

..

NC : こちらはNC (ネットコントローラー) の\*\*#\*\*\*です。ただ今までにチェックインされた方はJA1QC、JK1PIK、JA6AZE/1、.. です。順番にマイクをお回しします。JA1QC山本さん、どうぞ。

JA1QC : ご挨拶+お話し。\*\*#\*\*\*こちらはJA1QCどうぞ。

NC : 了解しました。次はJK1PIK村上さん、どうぞ。

JK1PIK : ご挨拶+お話し。\*\*#\*\*\*こちらはJK1PIKどうぞ。

NC : 了解しました。次はJA6AZE/1説田さん、どうぞ。

JA6AZE/1 : ご挨拶+お話し。\*\*#\*\*\*こちらはJA6AZE/1どうぞ。

.

NC : こちらはNC (ネットコントローラー) の\*\*#\*\*\*です。マイクは一巡しましたので、更にメンバーのチェックイン採ります。ただ今までにチェックインされた方はJA1QC、JK1PIK、JA6AZE/1、.. です。未だチェックインをされていない方、どうぞ。

(メンバーのパイルアップがあれば前述の繰り返し、若しくはコールなし)

NC : こちらはNC (ネットコントローラー) の\*\*#\*\*\*です。新たにコールがありませんので、お話しもれや追加メッセージがありましたらブレイク願います。どうぞ。

(参加メンバーからのブレイクがあれば順次マイクを回す。無ければオンエアミーティング終了前に最終マイクをチェックイン順に回し、終了の挨拶を受ける)

JA1QC山本さん、どうぞ。

JA1QC : ご苦勞様。 \*\*#\*\*\*こちらはJA1QC 73

NC : 了解しました。次はJK1PIK村上さん、どうぞ。

JK1PIK : (追加メッセージ) \*\*#\*\*\*こちらはJK1PIK 73

NC : 了解しました。次はJA6AZE/1説田さん、どうぞ。

JA6AZE/1 : お疲れ様。 \*\*#\*\*\*こちらはJA6AZE/1 73

..

NC : こちらはNC (ネットコントローラー) の\*\*#\*\*\*です。本日チェックインされました方は、JA1QC、JK1PIK、JA6AZE/1、.. 私を含めて合計##局でした。次回はXX月XX日XX時です。よろしくお願い致します。こちらはNC (ネットコントローラー) の\*\*#\*\*\*でした。引き続きラグチューをされたい方は、この周波数を空けますのでサブチャンネルを指定して個別にお続けください。73

この例はあくまで参考です。このとおりにしなくてはならないと言う事ではありません。それぞれの送信が冗長とまらないように注意すれば良いでしょう。

「チェックインのみ」と意志表示される方の状況は、種々あるかと思えます。シャックを離れる、シャックに居る手が放せない、お話しするメッセージがないのでワッチのみ、e.t.c. 様々ですが、要はオンエアミーティングが短時間に終了するのであれば、メンバーのチェックインは多くなるし、「チェックインのみ」と意志表示される方は少なくなるのではないかと思われまます。

去る4月の総会でもお話しを致しましたが、「1分コール」という特殊な言葉の使用は、何か半強制的にお話しをしなければならぬのかと錯覚されぬとも限りません。「1分コール」ではなく単にマイクを回せば良いと思います。メッセージが無ければ、「特になし」で次へ回すようにします。それから、JA1QC山本会長がよく言われますように、自分にマイクが回ってきたときに、1~2秒遅らせて送信、あるいは「了解です」と一言送信して1~2秒受信状態にするブレーキングタイムをつくと良いでしょう。

このオンエアミーティングは約8年前の1997年4月からスタートしました。実施周波数は以前からメンバーが常用しておりました現在の432.76でした。NCは私の担当で行いましたが、実は別の方の担当を予定していました。しかし当時のメンバーのアクティビティは皆無に近く、この周波数は多くのメンバー以外の方々で常用されておりました。担当予定者は、混信が多くてとてもオンエアミーティングができない、との連絡を受けました。メンバーは、せめて週1回程度はトランシーバーの動作チェックもふくめ、オンエアして欲しいとの思いから、言い出しっぱの私が担当することとなりました。少々強引に開始しましたので、既にこの周波数を常用していた局から電波法を盾に非難を浴びましたが、7メガなどHF帯の状況に鑑み、可能な限り周波数の共用と互譲の心で運用のこととしました。少しでも混信があれば電波を出せない、ということでは、7メガなどまず電波は出せませんし、コンテストにも参加できません。混信があっても、それぞれのQSO相手と通信が可能であれば周波数の共用が出来る訳です。

このような状況でスタートして8年以上も継続し、たいへん嬉しく思います。歴代のNCの方々や多くの参加メンバーのご協力に感謝したいと思います。そして、オンエアミーティングの時間とともに他の曜日時間でも、そして他の周波数帯でも、もっと電波を出して欲しいと思っております。それが、有事の時に役立つ非常通信の運用ができるテクニックの糧になることでしょう。

(次号へ続く)

(28/Nov/2005)